

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 英語コミュニケーションⅡ ナンバリング：1013		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：後藤範子 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ 1. 簡素な英語表現で簡単な会話ができる程度の会話力を身につけることができる。 2. 就職先園で必要となる基本的英会話を習得し、子どもや保護者と簡易な会話ができる。 3. 誰とでも恐れずに、コミュニケーションする態度を身につけることができる。			
授業の概要 授業は、講義形式と演習形式で構成されている。授業では、ロールプレイやカードゲーム、英語の歌等の活動により、英会話の基礎を身に付け、さらに、英語絵本の読み聞かせを通して、表現力や即戦力を培う			
授業計画 第1回：オリエンテーション 会話で使う基本表現 第2回：英語Ⅰの復習（来客・電話応対のセリフを作ろう） 第3回：園の遊具や文具を覚えよう 第4回：初対面の挨拶、保育所・幼稚園の1年間の行事 第5回：保育所・幼稚園での活用 第6回：保育所・幼稚園での活用 第7回：保育所・幼稚園での活用 第8回：映画から他者理解を学ぶ 第9回：映画から他者理解を学ぶ 第10回：演習 昔話の絵本の読み聞かせ練習① 英文の理解 第11回：演習 昔話の絵本の読み聞かせ練習② 発音練習 第12回：クリスマスソング・海外の文化に触れよう 第13回：演習 昔話の絵本の読み聞かせ練習③ グループ練習 第14回：演習 昔話の絵本の読み聞かせ練習④ 発表 第15回：復習・保育の1日を演じてみよう 定期試験：筆記試験		(授業時間外学習 1時間以上) ・予習では、授業内言語活動に備えて、個人およびグループでの練習や準備が必要である。 配布資料の英文の単語の意味を調べ、音読などを行いながら、理解し身に付ける。 ・授業後は1時間程度の復習が必要である。 英文は耳や口や目や指を使って、覚えるまで反復する。 Practice makes perfect. (ことわざ「習うより慣れる」)	
授業の方法 実践的な英語表現を、学生の主体的活動を通して身に付ける。このため自主的な事前・事後活動が必要である。 単元終了時に小テストを実施。帯活動として英語の歌を扱う。英語絵本の読み聞かせでは、英文の理解・正確な発音・豊かな表現力を培うために、反復練習を行う。			
テキスト 『英語で学ぶ オフィスコミュニケーション』 藤田利久他 西文社 & 配布プリント			
参考書・参考資料等 適宜指示する。			
学生に対する評価 小テストの成績(30%)、定期試験の成績(40%)、授業参画度(30%)を総合的に判断して評価			
履修上の注意 There is no royal road to learning. ギリシャ数学者ユークリッドがエジプト王に話したという故事。 英語などの習得には日々の努力が重要である。授業は毎回出席し、積極的に言語活動を行い、身に着くまで繰り返す。わからない単語は意味を事前に調べておくこと。事前・事後の学習が向上の秘訣である。			
実務経験の有無	有	実務経験	元高等学校外国語科教諭
実務経験を活かした教育内容 外国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、英語力の向上を図る。			